

時代の要請と伝統

病院長 柿澤 卓

本学は平成22年に120周年を迎えますが、平成2年にTDCビルに開院した水道橋病院も、早いものでその前年には20周年を迎えることになります。この「水道橋畔発」も、新しい歯科医療情報発信と病診連携の媒体として、今回で7号の発刊に至りました。

このような伝統の大学の中にある若い本院は、正しく120周年の意味する「継承と創造」を具現できる最短の位置にあるように思われます。長い伝統に培われた学問や技術は、何にも代え難いものですが、それに時代の要請と新しい発見を加えて発展させていくのが、伝統を継承する我々の責務と思います。そのような観点から、本院では、伝統による経験則に捕らわれがちな考えをもう一度考え直し、固定観念に捕らわれない発想で新たな方法論を各分野で展開しようと、まずは本院20周年に向け考えております。

なお、引き続き医療の質の向上を図りつつ、緊密な病診連携の基に基幹的歯科病院構想を推し進めておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

准教授昇任のご挨拶

口腔インプラント学分野 関根秀志



平成19年10月1日付けを持ちまして、東京歯科大学口腔健康臨床科学講座准教授を拝命いたしました。昭和62年に歯科補綴学第三講座（局部義歯学）に入局以来、諸先輩方をはじめ多くの方々からご教授、ご指導をいただき、研鑽を積んでまいりましたところ、平成15年には水道橋病院に配置換えとなり、新規に開設されました口腔インプラント科の科長を勤めさせていただいております。

た。この度、准教授の命を頂戴し、その重責に身の引き締まる思いであります。

近年、術式と材料の改良が進み、良好な成績が数多く報告され、歯科治療におけるインプラント治療の適用頻度は徐々に高まりつつあります。水道橋病院口腔インプラント科では、常勤スタッフに加え臨床教授の先生方とともに、日々、診療に従事しております。もとより、インプラント治療は包括的歯科医療であるとの認識に基づき、柿澤病院長先生のご理解の下、関連各科、手術室・病棟、歯科衛生士部、歯科技工部などとも緊密な連携を図りながら各分野の特徴を総動員し、患者様ごとに異なるニーズを的確に把握したきめ細やかな対応を心がけております。最近では、一般的なインプラント治療に加え、骨質・骨量の不足など従来ではインプラント治療の適用は困難であった症例、あるいは全身的な既往により、インプラント治療におけるリスクが高いと診断される症例などについてご紹介を頂戴する機会が増え、科内はもちろんのこと、病院を挙げて対応させていただくシステムを構築しております。また近隣の先生方、同窓の先生方を中心に治療のご相談、診療・手術の見学などで当院へお立ち寄りくださる先生方も多く、患者様ごとに主治医の先生との緊密な連携を心がけている次第です。

一方、残念ながらインプラント治療に伴う不具合、偶発症につきましても、少なからずご相談を頂戴する機会がございます。そのような場合におきましても、院内各科、さらには千葉病院、市川総合病院の総力を挙げて対応させていただいております。

今後は、安全で確実なインプラント治療の実践とともに、インプラント治療を基礎から学ぶ講義・実習などの研修活動にも力を注いでいく予定です。そして、微力ではございますが、東京歯科大学水道橋病院が少しでも地域のお役に立てるよう、最大の努力を惜しまぬ所存であります。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

着任のご挨拶

矯正歯科（歯科矯正学分野） 片田英憲



本年 10 月 1 日より、末石研二先生の東京歯科大学歯科矯正学講座教授就任による人事異動を受け、また柿澤病院長のお声をいただき、この度水道橋病院の矯正科に着任いたしました。思い起こしますと 25 年前、学部 1 年（3 年

生）から水道橋に通いました。当時はレトロな感じの旧校舎でしたが、解剖や病理、理工などの基礎実習、補綴の総義歯実習などをここで学びました。その後大学の千葉移転に伴い、学 2 の秋からは千葉新校舎で学び、卒業後は矯正科に大学院生で入局し、助手、講師となって現在に至っております。

千葉ではここ数年、数多くの教育に関する会議やワークショップに参加して、特に学生や研修生の教育に携わって参りました。水道橋では研修生やレジデントなど若い医局員が多いので、自分の今までの経験を彼らの教育に活かしたいと考えております。研究ではコンピュータを使った研究を中心に行なってまいりましたが、数多い水道橋病院の臨床実績をまとめることにより、エビデンスのある研究を手がけようと考えております。臨床では千葉における研修生教育中心の診療と違い矯正専門医や子供病院、都立病院などから紹介で来る難易度の高い症例が多く、やりがいのある診療が行なえそうです。

水道橋病院は現在、柿澤病院長を中心とした病院改革の半ばで、その一翼を担っていた末石先生の後任が私では戦力ダウンは必至ですが、早く力になれるようがんばって行く所存です。どうかよろしく願いいたします。

講師就任のご挨拶

総合歯科（歯科保存学分野） 齋藤 淳



この度、平成 19 年 9 月 1 日付で、口腔健康臨床科学講座の歯科保存学分野に配属となり、水道橋病院総合歯科にて勤務をさせていただいております。平成 11 年に歯科保存学第 2 講座（現歯周病学講座）を退職後、故郷の仙台

で父とともに微力ながら地域医療に従事してまいりました。同時に、宮城高等歯科衛生士学院（宮城県歯科医師会立）の教務部長、講師として、日本で初めての 3 年制歯科衛生士教育にスタート時点から関わる機会を得ま

した。歯科衛生士の専門性の向上や国際水準を意識した新しい教育、研究に歯科衛生士専任教員の先生方とともに日々取り組んできました。すでに数多くの 3 年課程の卒業生が歯科衛生士として活躍しておりますが、平成 19 年 7 月には卒業生 3 名が在学中に書いた論文が第 1 回「世界歯科衛生士賞」を受賞しました。7 月にカナダ・トロントで開催された歯科衛生国際シンポジウムにおいて、卒業生たちは世界中から参加した歯科衛生士が見守るなか、立派に受賞口演を行ってまいりました。これは成果の一部ではございますが、学生、教員が一丸となって取り組んできたことが国際的に評価され、大変うれしく感じるとともに、今後の日本の歯科衛生士の新たな可能性に期待を大きくしております。歯科医師教育に関しましては、東京歯科大学歯周病学講座および東北大学歯学部非常勤講師として実習、講義に携わってまいりました。千葉病院時代は、恩師の山田 了教授、奥田克爾教授のご指導のもと、ニューヨーク州立大学バッファロー校での学外研究（歯周病原性細菌と宿主細胞との相互作用について）の機会も与えていただきました。その後、専門分野の研究からは離れ相当のブランクがありますが、常に研究に対する意識をもって努力していきたいと考えております。

このほど、柿澤 卓病院長のご指示のもと、水道橋病院を日本歯周病学会の専門医研修施設にすべく申請手続きをいたしました。学会の承認後、平成 20 年 4 月からは専門医研修施設として新たなスタートを切ることになります。今後も専門医取得を目指す若い先生方によりよい研修を提供できるような環境作りに努力してまいります。歯周病の予防、治療には歯科衛生士の力が必須であります。幸い、水道橋病院では優秀な歯科衛生士の方々が熱意をもって業務に従事されており、日本歯周病学会の認定歯科衛生士も多くいらっしゃいます。今後は歯科医師、歯科衛生士が効果的に協調した質の高い歯周治療を行うことで、患者さんの健康や QOL の向上を目指していきたいと思っております。

皆様よりご指導をいただき、微力ではございますが、東京歯科大学の発展に貢献できるよう努力することを誓いましてご挨拶とさせていただきます。

LASIK に新しくフェムトセカンドレーザーを導入

眼科科長 ビッセン宮島弘子

2008 年 1 月から、水道橋病院眼科の屈折矯正手術 LASIK がさらにグレードアップします。現在行っている波面収差解析を用いたエキシマレーザーによる

wavefront-guided LASIK は、非常に良好な手術成績で、多くの患者様がメガネやコンタクトレンズに頼らない快適な生活を送っています。このすばらしいエキシマレーザーに加え、フェムトセカンドレーザー（イントラレース）が導入されます。フェムトセカンドレーザーは、エキシマレーザーとは違った役目で、ブレードを使わずに角膜をミクロン単位で自由自在の形に切開し、正確なサイズの角膜フラップができます。この最高技術を備えたフェムトセカンドレーザーとエキシマレーザーの両方を組み合わせた LASIK のみが、2007 年に NASA の宇宙飛行士に許可されました。全く同じ技術が水道橋病院眼科でも行えるようになりましたことを皆様にご報告するとともに、近視、遠視、乱視、あるいは老視で悩んでいらっしゃる患者様がいらっしゃいましたら、是非、ご紹介ください。LASIK のパンフレットを同封させていただきます。フェムトセカンドレーザーにつきましては、現在、詳しいパンフレットを作製中ですが、ご来院の際、わかりやすく説明させていただきます。

インプラント治療における神経損傷

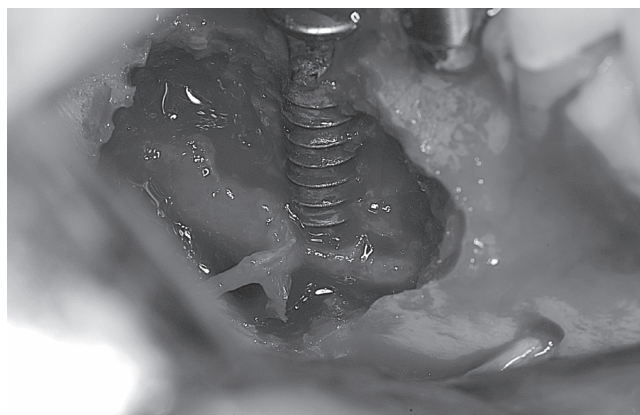
口腔外科（口腔外科学分野） 高崎義人

近年、インプラントを用いた歯科治療が多く行われるようになり、多くの患者さんがインプラント治療の恩恵を受けています。

しかしながら、合併症の一つである下歯槽神経損傷の報告が増加傾向にあります。当院では歯科麻酔科と口腔外科が共同で知覚障害の治療に当たっています。

軽症な場合は投薬や注射（星状神経節ブロック）で回復することもあります。完全回復しない場合もあり、対応には十分注意しなくてはなりません。また、神経が切断された場合には神経修復手術が必要です。これは手術用顕微鏡を使って、切れた神経を縫合したり、他の神経を移植する手術（マイクロサージャリー）です。

これらの治療は、損傷後早期（数ヶ月以内）に行なわ



インプラントによる下歯槽神経損傷例

れなければ効果が低いと言われています。もし知覚障害が発現した場合には、専門医による早期診断と治療法の選択が重要です。

水道橋病院症例報告会のご案内（予報）

症例報告会準備委員会

毎年 4 月に血協記念ホールにおいて開催しております東京歯科大学水道橋病院症例報告会ですが、来年度も 4 月の開催に向けて準備を進めています。今回も昨年同様に口演、ポスター展示、課題講演などを予定しております。日常臨床に直結するヒントや情報が得られ、また活発な討議がなされるような会となるよう計画しています。また業者展示も併設いたしますので、皆様ふってのご参加をお願い申し上げます。なお詳細は追ってご案内申し上げます。

日時：平成 20 年 4 月 10 日（木）15 時～

場所：TDC ビル 2 階 血協記念ホール



今年の症例報告会講演会の様子

診療情報提供書を改訂しました

医療連携室

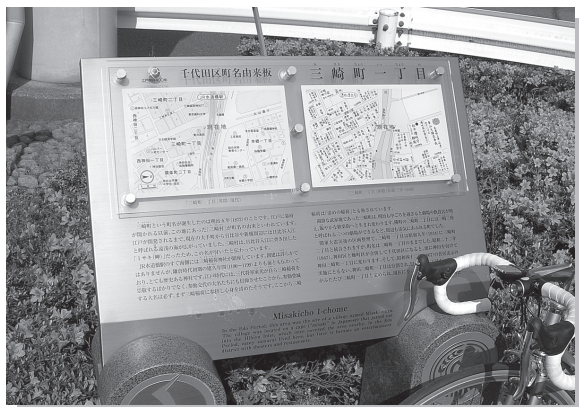
以前より当院への患者様のご紹介に際してご使用いただいている診療情報提供書を A4 判に変更するにあたり、内容も記載しやすいように一部改訂いたしました。今回本誌の発送にあたり数部を同封させていただきましたが、追加必要の折は下記までご連絡下さい。折り返し郵送させていただきます。

東京歯科大学水道橋病院 医事課医療連携係

電話 03-5275-1932

FAX 03-3262-3420

水道橋界隈スケッチ



▲町名由来

千代田区内六十数カ所にこのような町名由来板が設置されているそうです。
三崎町の由来板は、水道橋病院前の歩道橋を渡って、東洋高校側に降りた脚の付け根にありました。ぶらぶら散策ついでに身近な歴史探訪です。



▲水道橋

都立工芸高校の向かいから見た水道橋です。歩道の脇に水道橋という名前の元になった神田上水の案内が設置されています。



▲神田上水

日本最古の都市水道・神田上水の水を通した水道橋。中を流れていた水は、遠く井の頭池からはるばる流れてきて、神田・日本橋方面に供給されたようです。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧
〈水道橋病院各科へは以下の番号にお問い合わせ下さい〉

総 合 歯 科	03-5275-1721 1722
口腔インプラント科	03-5275-1760
小 児 歯 科	03-5275-1723
矯 正 歯 科	03-5275-1724
口 腔 外 科	03-5275-1725
歯 科 麻 酔 科	03-5275-1851
眼 科	03-5275-1856
内 科	03-5275-7926
放 射 線 科	03-5275-1953
庶 務 課 FAX	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内

初 診 受 付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診 療 時 間	平日 午前9時から午後4時30分 土曜 午前9時から午後12時
休 診 日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、年末年始

年末年始の診療について

年末は12月28日(金)まで平常に診療いたします。
年始は1月5日(土)より診療開始です。なお休診中は、
本院へ通院中の患者さまに対してのみの緊急オンコール
態勢となりますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し
上げます。

編 集 後 記

平成19年もあと僅かとなりましたが、水道橋病院のこの一年は大きく変化した年でした。年が明けると区切りの良い平成20年、干支は子年。子(ね)は方角では北0度にあたるそうですが、新しい年に心機一転総てに良いスタートを切りたいものです。諸先生方にもよりよい年になりますようにお祈り申し上げます。(宏)

水道橋畔発編集委員

編集委員長 柿澤 卓
編集副委員長 堀田 宏巳、高野 正行
編集委員 大多和由美、関根 秀志、福田 謙一、
宮崎 晴代、森山 貴史